

様式〇（第 1 5 条関係）

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
柏市	柏市	平成31年度～令和5年度	平成31年度～令和5年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現状（割合※1） （平成29年度）	目標（割合※1） （令和6年度） A	実績（割合※1） （令和6年度） B	実績 B / 目 標A ※2
排出量	事業系 総排出量	36,170t	36,970t (+2.2%)	35,366t (-2.2%)	-100.0%
	1 事業所当たりの排出量	3.35t/事業者	3.14t/事業者 (-6.3%)	3.36t (0.3%)	-4.8%
	生活系 総排出量	80,962t	78,387t (-3.2%)	77,333t (-4.5%)	140.6%
	1 人当たりの排出量	223.1kg/人	206.4kg/人 (-7.5%)	201.2kg/人 (-9.8%)	130.7%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	117,132t	115,357t (-1.5%)	112,699t (-3.8%)	253.3%
再生利用量	直接資源化量	32.0t (0.03%)	28.82t (0.02%)	163.3t (0.1%)	-700.0%
	総資源化量	24,214t (20.7%)	28,517t (24.7%)	21,277t (18.9%)	-45.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量及び熱利用量）	18,897MWh 194,355GJ	16,654MWh 169,452GJ	21,604MWh 199,532GJ	
減量化量	中間処理による減量化量	81,558t (69.6%)	76,711t (66.5%)	81,152t (72.0%)	108.3%
最終処分量	埋立最終処分量	11,360t (9.7%)	10,129t (8.8%)	10,250t (9.1%)	65.7%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量＋集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制 、再使用 の推進に 関するもの	1 1	啓発事業の推進	柏市	ごみ減量広報紙を発行するとともに市ホームページによる啓発、転入者に対する啓発を行う。	平成31年度～ 令和5年度	ごみ減量広報紙を発行した他、市ホームページ、SNSを通じて啓発を行った。
	1 2	環境学習の推進	柏市	小中学生を対象とした環境学習の強化を図るとともにリサイクルプラザで講座を開催する。	平成31年度～ 令和5年度	令和元年度、5年度に市内小学校を対象に出前授業を実施。 なお、2～4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。
	1 3	食品ロス削減の推進	柏市	家庭や飲食店における食品の使いきりや食べきりを促進する取り組みを推進する。	平成31年度～ 令和5年度	市公式SNSを使い、食品ロス削減を啓発した。
	1 4	生ごみの減量の推進	柏市	生ごみ処理容器等購入費補助制度を継続する。	平成31年度～ 令和5年度	可燃ごみの減容化のため、生ごみ処理容器等購入費補助制度を継続した。
	1 5	生活系ごみ有料化の検討	柏市	指定袋制の生活ごみの有料化を検討する。	平成31年度～ 令和5年度	新型コロナウイルスによる市民生活への影響を考慮し、改定を保留している。
	1 6	3 R 推進事業所・3 R 推進店推奨制度の	柏市	3 R 推進事業所・3 R 推進店推奨制度のアピールと登録事	平成31年度～ 令和5年度	3 R 推進事業所・3 R 推進店推奨制度のアピールと登録事業者

		拡大		業者を市ホームページ等へ掲載してPRする。		を市ホームページ等へ掲載した。
	17	事業系ごみ減量チラシの作成・運用	柏市	事業系ごみの減量チラシを作成し、無理なくごみ減量ができる取り組みを紹介する。	平成31年度～令和5年度	事業系ごみ減量チラシを作成し、市ホームページに掲載した他、一部事業者配布した。
	18	多量排出事業所への指導強化	柏市	事業系一般廃棄物減量計画書の提出を求めるとともに直接訪問指導を行う。	平成31年度～令和5年度	事業系一般廃棄物減量計画書の提出を求めた他、直接訪問指導を29店舗行った。
	19	再利用品の販売・情報提供	柏市	粗大ごみとして出された家具等の修理、展示・販売を継続する。	平成31年度～令和5年度	リボン館においてリサイクル家具の展示、販売を継続した。
	20	指定ごみ袋による分別徹底・資源化の推進	柏市	指定ごみ袋制度を継続するとともに、分かりにくい品目や排出方法の間違いの多い品目の情報を周知。	平成31年度～令和5年度	指定ごみ袋について、柏地域・沼南地域で分かれていた袋を統一した。
処理施設の整備に関するもの	1	柏市リサイクルプラザ基幹的設備改良事業	柏市	基幹的設備改良により、リサイクルプラザを延命化し温室効果ガスの排出を抑制する。	平成31年度～令和3年度	令和元年度から令和3年度の3ヶ年で基幹的設備改良工事を実施した。
	2	柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業	柏市	基幹的設備改良により、柏市清掃工場を延命化し温室効果ガスの排出を抑制する。	令和5年度	令和5年度から令和8年度の4ヶ年で基幹的設備改良工事を実施している。
	3	柏市北部クリーンセンター基幹的設備改	柏市	基幹的設備改良により、柏市清掃工場粗大ごみ処理施設を	令和5年度	令和5年度から令和8年度の4ヶ年で基幹的設備改良工事を実施

		良事業		延命化し温室効果ガスの排出を抑制する。		している。
施設整備に係る計画支援に関するもの	3 1	柏市リサイクルプラザ基幹的設備改良事業（事業番号1）に係る建築改修設計事業	柏市	1の事業の実施のため、LED化や建築設備更新のための建築設計を行う。	平成31年度	リサイクルプラザ基幹的設備改良工事に建築改修設計を実施した。
	3 2	柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業（事業番号2，3）に係る長寿命化総合計画策定支援事業	柏市	2，3の事業の実施のため北部クリーンセンターの長寿命化総合計画を策定するもの。	令和2年度	北部クリーンセンターの長寿命化総合計画の策定を行った。
	3 3	柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業（事業番号2，3）に係る施設整備に関する計画支援事業	柏市	2，3の事業の実施のため、PFI等導入可能性調査、延命化工事に係る発注仕様書作成並びに、基幹的設備改良工事及び長期包括運営委託業務に係る事業者選定業務を行うもの。	令和3年度～令和5年度	令和3年度から令和5年度の3ヶ年で北部クリーンセンター基幹的設備改良工事に係る施設整備に関する計画支援事業に関する業務委託を実施した。
その他	4 1	環境物品への転換	柏市	環境負荷の少ない製品に関する情報を提供する。リユース食器は、市主催のイベント等で活用を推進する。	平成31年度～令和5年度	リボン館における食器を含むリユース品の販売を継続した。

	4 2	資源化に対する適正 対価の確保	柏市	適正な資源化の推進や財政的 な負担の軽減を図ることを目 的に各種リサイクル法の処理 ルートを原則として、古紙や 金属類等の売却を継続する。	平成31年度～ 令和5年度	資源品について、引き続き各種 リサイクル法の処理ルートを原 則として売却を継続した。
	4 3	容器包装プラスチッ ク類の資源化	柏市	分別方法の広報を行い、適正 排出を促進するとともに、容 器包装リサイクル協会を通じ ての資源化を継続。	平成31年度～ 令和5年度	引き続き容器包装リサイクル協 会を通じての資源化を継続する と共に、製品プラスチックのリ サイクルについても研究を行っ た。
	4 4	紙ごみの資源化	柏市	ざつ紙等の資源化可能な紙類 が可燃ごみに混入して排出さ れないよう、分別区分や排出 方法等の広報を行う。	平成31年度～ 令和5年度	市広報紙や市ホームページ、SN Sを通じ、雑紙の再資源化の周 知広報を継続した。
	4 5	食品廃棄物等の資源 化	柏市	排出事業者による食品リサイ クル法に基づく食品廃棄物等 の資源化の取り組みを支援す る。	平成31年度～ 令和5年度	ドリームフラワープロジェクト を通じ、市内小学校から発生す る給食残渣の資源化を続けた。
	4 6	小型家電リサイクル の推進	柏市	小型家電の回収事業について 幅広い周知を行い、回収量の 増加に努める。	平成31年度～ 令和5年度	市内公共施設に設置された小型 家電回収ボックスでの収集を継 続した。
	4 7	焼却灰の資源化	柏市	放射能が十分に低下した場合 の将来の焼却灰の資源化の再	平成31年度～ 令和5年度	令和2年度より焼却灰の一部再 資源化を実施した。

				開を目指し検討を行う。		
--	--	--	--	-------------	--	--

3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

(1) 削減量（実績）

【事業番号1：柏市リサイクルプラザ基幹的設備改良事業】

- ・二酸化炭素の削減量23.89%（目標値は20.15%以上）
- ・同上算定方法 1)基幹改良事業施工前の稼働実績（平成30年度7月中旬）を基準量として同左事業施工後の稼働実績（令和3年度7月中旬）とを比較し算出
2)算定式は「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル 第Ⅲ編 第2章 2.3 基幹改良 CO2 削減率」を使用

【事業番号2：柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業】

- ・二酸化炭素の削減量については、令和8年に基幹的設備改良工事が完了予定であり、工事中のため、現在CO2削減量の測定は未実施である。

(2) 削減量に達しなかった場合の原因

--

4 目標の達成状況に関する評価

排出量については、事業系総排出量及び生活系総排出量は目標を達成することができた。ただし、1事業所当たりの排出量とした場合、生活系総排出量では目標を達成することができたが、事業系総排出量では目標を達成することができなかった。ごみの減量は成功しているので、事業者数の減少が進んでいると考えられる。

再生利用量については、直接資源化量は目標を達成することができたが、総資源化量は目標を達成することができなかった。これはPETボトルを除き、プラスチック、古紙類、紙パック類、古着・古布類、空ビン類、空カン類、金属類といった資源化を実施しているごみの搬入量及び処理量が減少したためである。

エネルギー回収量については、年間の発電電力量及び年間の熱利用量は目標を達成することができた。

減量化量については、目標を達成することができた。

最終処分量については、目標を達成することができなかった。平成29年度と比較すると、北部クリーンセンター（固化灰・不燃残渣）においても南部クリーンセンター（飛灰固化物及び主灰）においても数値は減少傾向にあるが、目標には届かなかった。中間処理の減量化量、最終処分量の極少化に向け、今後も取り組みを継続していく。

なお、目標が達成できなかった要因及び目標達成に向けた方策について循環型社会形成推進地域計画改善計画書を作成する。

（都道府県の所見）

排出量について、事業系総排出量、生活系総排出量、1人当たりの排出量及び事業系生活系排出量合計は現状より実績は減少しており、目標を達成できているが、1事業所当たりの排出量は現状より実績は増加しており、目標を達成できていない。

再生利用量については、直接資源化量は現状より実績は大きく増加しており、目標を達成できているが、総資源化量は現状より実績は減少しており、目標は達成できていない。

エネルギー回収量については、現状より実績は増加しており、目標を達成できている。

減量化については、目標を達成することができている。

最終処分量について、現状より実績は減少しているものの目標は達成できていない。

今後は改善計画書に基づき、目標達成に向けた方策を適切に実行し、1事業所当たりの排出量、最終処分量の減少及び総資源化量の増加に努めら

りたい。

（ 技管協の所見 ）

施策種別：処理施設の整備に関するもの

事業番号： 2

施策の名称等：柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業

柏市は環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業として、廃棄物処理施設技術管理協会からの補助金を受けて事業を進めている。改良事業は地域計画に設定したとおり順調に進捗しており、完了予定は令和 8 年度である。想定した事業効果を発揮できるよう、確実に事業を進めていただきたい。